



湯河原ロータリークラブ WEEKLY REPORT



2020年9月18日(金)
例会 第2814回

天気：くもり
合掌：それこそロータリー

ロータリーは機会の扉を開く

会長 山本明峰
幹事 佐藤友彦

事務所：神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会内
TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716
例会場：ニューウェルシティ湯河原 静岡県熱海市泉 107
TEL 0465(63)3721 FAX 0465(63)6401
例会日：毎週金曜日 12:30～13:30

会長挨拶

明日は彼岸の入りで、来週の金曜が彼岸明けということになり、偏に私の都合で次週は特別休会とさせて頂いております。ところでこの彼岸ですが、中日の秋分が昼と夜の長さが同じということになり、陰と陽のバランスが良い。このバランスを程よく取っていかうというのがこの期間の過ごし方であると言われます。つまりは仏教でいうところの「中道」になるのですが、中道とは極端に振れずに適度な道を往く。今現在生きている生者のことだけでなく膨大な数の死者にも想いを寄せる。人類だけでなく生きとし生けるものに並べて慈愛を注ぐ。言葉で事象を捉えようとするだけでなく観想によって真の姿を認識しようとする。そしてこの穢土にばかり囚われずに心に浄土を念じ、ありありとそれを想い描くのだと。そのような一週間であるように、またそれが彼岸の間だけでなく生きる常態であるようにというのが、釈尊のいわゆる中道の実践です。

臨時クラブ協議会

平松礼二画伯を当クラブの名誉会員に選びたいとの発案がございましたので、今日はそのことについて話し合いを持ちたいと思います。なお決定はあくまでも理事会となることをあらかじめ申し添えておきます。因みに「名誉会員」の定義ですが、今年度の活動計画書の63ページに「湯河原ロータリークラブ定款-第6節」として次のように記載されております。

本クラブは、理事会が決定した存続期間で名誉会員を選ぶことができる。名誉会員は以下の資格を満たすものとする。

出席報告	ゲスト 0名 ビジター 0名	会員 24名
	欠席 5名(免除者2名)	前回の修正出席率 90.91%
	出席率 86.36%	前々回の修正出席率 100.00%

事前メイクアップ 2名

- (a)会費の納入を免除される
 - (b)投票権を持たない
 - (c)クラブのいかなる役職にも就かない
 - (d)職業分類を保持しない
 - (e)本クラブのあらゆる会合に出席することができ、そのクラブのあらゆる特典を享受することができるが、他のクラブにおいてはいかなる権利または特典も持たないものとする。ただし、ロータリアンの来賓としてではなく訪問することはできる。
- 以上になります。ご意見をお願いします。

幹事報告

幹事報告

ガバナーより

1. 第7回日台ロータリー親善会議福岡大会開催中止のお知らせ

連絡事項

1. 次週は特別休会です。10月の例会は、2日通常例会、9日下草刈り、16日、23日通常例会、30日は規定により休会となります。

スマイルBOX

9/18～30

西山敦君

8/1 五所神社、8/1 門川八幡神社、9/1 3日城堀産土八幡神社、3社の例祭典が縮小のうちに無事終了しました。

佐東丈介君

息子が相模原で内科クリニックの開業のため本日より工事が始まりました。

高知尾朝行君・伊藤伸之君・高杉尚男君

苅谷会員が卓話をキャンセルしましたのでスポンサー3人がスマイルします。

卓話：荻谷和彦君

今回は若い頃イタリアを大学の同級生と貧乏旅行した話をしようかと思えます。チボリ市との提携も深いイタリアと湯河原なので些細な情報ではありますが、旅行して触れ合った人たちやイタリアってこんなところというのが少しでも感じていただけると嬉しいかなと思えます！

大学の卒業旅行で学友とその頃ブランドが流行っていたこともあってイタリアに行ってみたくと話が出て、卒業旅行でアエロフロートと言うロシアのエアバスが格安だったのでモスクワ経由でローマに向かうことになりました。

レオナルドダビンチ空港に着いたのですが、着いたのは夜中の1時、格安は到着時間も格安でした。ローマまで最終電車のため、たどり着けず、行けるところまで向かいそこから夜中のローマ近郊を歩くこと小一時間2時過ぎにローマ市内に着きました。まだ難問が、ホテルも取ってなかったのこれからホテルを探さなくては行けないのですが、ちゃんとしたホテルはお金もないので泊まれず、街中の安宿を探します。五、六件は尋ねたでしょうか、7軒目でやっと出てきて泊まることになりました。夜中の3時でしたのでホテルの方はパジャマ姿で可愛いパジャマとお揃いのキャップまで被っていました。

二人で五千円ぐらいだったと思えます。

本当に何も考えない旅の始まりは前途多難だらけの始まりだったと思えます。

次の日はフィレンツェに向かおうと思いきや只眠りにつきました。起きてローマ駅に向かいます。

ローマ駅で切符を買うのですがその当時英語を話す人は少なく殆ど通じません。持ってきた簡単なイタリア会話の本を見ながら何とか買って電車に乗り込もうとホームに向かいます。

が時刻表には書いてある時間に電車は無い。駅員さんに聞くとまだ来ないという事は分かりました。それから2時間程して出発しました。

所要時間は二、三時間だったと思えます。今回はすぐ宿を探しました、と言うのも昨日のこともあるので怖さと心配で、すると駅に何人かのおじさんたちが宿の客引きをしているのを見つけて声をかけてみました二人で四千元これは良いと言う事でまず宿にチェックイン。バスとお風呂の一体型の共同客室お風呂使うと誰もトイレに行けない宿でした。それでも安いのでここに決めてフィレンツェ観光に向かいます。ポンテベッキオ橋やドウモ、市街のメインの教会はみんなこう呼びます。観光し、屋外の市場みたいなところで食べたモツ煮込みのトマト煮のサンドイッチは美味しかったです。

それから途中で声をかけてきたイタリアのおじさんが英語でフィレンツェわかんない事あったら案内するよと話してきたので乗って案内してもらいコーヒーやアイスを奢ってもらい大丈夫？かなと思いつながら一緒に観光しました。それに英語を話すイタリアの人はなかなかいないのですごく助かりました。

後でイタリア在住の日本人の方と話したら奥さんに逃げられた男の子が寂しくて声をかけたと思えますと言われてなんだかイタリアの奥さんの怖さも伝わりました。

この2日間で簡単なイタリア語は結構覚えました。数字聞きたいこと、知りたい事の単語は覚えることができましたと言うかこの最低限があると過ごすことができます。

今は教育も発達しているのでほとんどの方が英語を話しますのでそんなに不便では無いですね。とまた話を次回の卓話の機会に是非お話ししようかと思えます。

